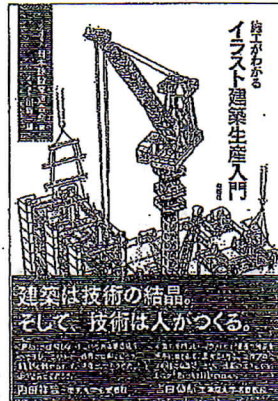


800点のイラストで疑似体験



日本建設業連合会の建築生産委員会(真田守弘委員長)は、1つの建築物の着工から完成、維持・保全までのプロセスを実践に基づいたストーリー仕立てで分かりやすく解説した『施工がわかるイラスト建築生産入門』を発刊した。800点超のイラストを中心に現場のリアル

日建連

『施工がわかるイラスト建築生産入門』発刊

を凝縮し、読むだけで疑似体験できる内容を心掛けた。編集の中心的役割を果たした同委員会を凝縮し、読むだけで疑似体験できる内容を心掛けた。編集の中心的役割を果たした同委員会

の木谷宗一施工部会長は、「現場の魅力を埋め込みながら、品質問題や企業の社会的役割といったトピックも散りばめている。大学や専門学校で学ぶ、ゼネコンの新人教育に役立つ内容になっている」と説明する。

編集に当たっては、ものづくり大学と共同で企画を手掛け、施工部会のワーキングで具体的な作業を進めた。大学などの教育機関では、各専門分野の内容を分かりやすく理解できるよう工夫した教科書が多数ある

が、図版や写真よりも文字が多

く、若者にとって難解な部分も

多いことから、「現場で何をやっ

ているかが手に取るように分か

る」(木谷部会長)ことにこだわ

り作成することにした。

入門は、▽建築生産のしくみ

▽着工から竣工まで▽維持・保

全・改修工事▽解体——の4部

構成で、架空のビルをモデルに、

その現場で働くゼネコンと専門

工事業者が丸となった取り組

みを時系列で解説している。

本文で紹介しきれなかった関

連キーワードは巻末にまとめて

いる。精緻なイラストはイラストレーターの小崎一雄氏が担当

した。書籍はA4判208ページで

価格は3200円(税別)。彰

国社から販売する。